

中長期経営計画の策定趣旨

新潟市水道事業中長期経営計画の策定にあたっては、外部環境の変化や水道に内在する課題などを踏まえ、本市水道事業を取り巻く環境を総合的に分析したうえで、**将来にわたりお客様から信頼される水道を目指します。**

平成17年の広域市町村合併により、本市の水道には広域化のメリットを発揮できる、またと無い好機が到来しています。さらに普及率は99%を超え、建設・拡張の時代から既存施設の質的向上や機能保持を図る改良・更新事業などが主流となる、いわゆる維持管理の時代に移行しており、本市の水道事業にとっては大きな転換の時期を迎えています。

このような中、将来にわたって安全な水の安定供給を持続するためには、限られた経営資源(職員・施設・財源等)の中で「より効率性の高い水道」・「お客様に信頼される水道」に向けて、水道システムの再構築を図ることが必須であるとともに、その過程においては、お客様への説明責任を果たす必要があります。

これらを踏まえ、本市水道事業のあるべき将来像とその実現のための具体的な施策群を設定し、戦略的な事業を展開するための中長期的な計画として「新潟市水道事業中長期経営計画」を策定しました。



外部環境の変化と内在する課題

- 地方分権の進行や市町村合併による事業の広域化、環境問題の顕在化
- 行政の分野では、行政が責任をもって行うべき範囲を明確にしたうえで、「民間の活力ある経営手法等を活用する」いわゆるニューパブリックマネジメント(NPM)という考え方が主流となっており、地方公営企業の分野においても例外ではない。
- 高普及率時代を迎え、拡張の時代に建設された水道施設は更新の時期を迎えている。
- 経済の低迷や節水器具の普及、節水意識の高まり、少子高齢化時代の到来などにより、水需要についても将来にわたり増加が見込めない状況にある。
- お客様の水道に対する「安全性」と「おいしさ」への関心や、提供される「給水サービスとお客様サービス」へのニーズは、かつてないほど高度化、多様化してきている。また、対価として支払う「水道料金」については、最も効率的・効果的に活用されることが求められている。
- 国においては、全国の水道事業体に共通する課題に対応するため、平成16年6月に「水道ビジョン」を策定し、「安心」・「安定」・「持続」・「環境」・「国際」の5つを長期的な政策目標に掲げ、各水道事業体に、地域の実情に即した「地域水道ビジョン」の策定を推奨している。

